

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 8 号

平成 27 年 12 月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 影山 晃一

校庭東の木々の葉が落ち、冬の装いとなりました。その分、朝の陽が当たるようになり、校庭の明るさが増しています。児童も、澄んだ日差しの中、明るく元気に、生活しています。

12月の生活目標「最後までやり抜こう」

◇ 持久走大会（全市一斉土曜授業）

12月5日（土）、持久走大会を実施しました。学校では、業間の時間を利用し、11/24（火）から5分間走の練習を始めました。

スタートでは、緊張の様子でしたが、走り始めると夢中になり、ゴールに向け、力を出し切りました。

12月の生活目標を受け、大会のめあては、「最後まで粘り強くやり遂げよう」。「粘り強く」とは、苦しい、歩きたい、という気持ちを我慢して、走り続ける、という思いに変えることです。

児童は、「苦しさに立ち向かうと、必ずゴールに着くことができる」という「粘り強さ」を、さらに強くすることができました。

♡♡♡ 近隣の保護者、地域の方に感謝します ♡♡♡

大会当日、コースの最終確認をしたところ、学校西側の道路が、きれいに掃かれ、小石等もなく整備されていました。児童が安全に走れるよう、近隣の保護者、地域の方のお心遣い、ご協力と思います。陰に陽にと、本校を支えてくださる方を頼もしく思い、感謝いたします。

これからの土曜授業を考えます

本校では本年度、土曜授業を3日実施しました。ご来校くださいました方に感謝いたします。さて、土曜授業の趣旨は次のとおりです。

地域の人材等による授業への参画や、保護者等の協力を得た体験的な学習活動の実施など、地域の教育力を生かした教育活動を一層推進するとともに、保護者や地域住民に授業を公開することなどにより、学校の教育活動への家庭・地域からの理解を深める。

学校週5日制での土曜日、子どもの生活の場は家庭、地域です。子どもが、家の人や地域の方と多様な体験をすることで、興味や関心を広げたり、感謝の心を育てたりします。その体験の場を、地域の施設である学校とするものです。

次年度の計画を立てる際には、より土曜授業の趣旨を踏まえたものになるよう、本年度の内容（通常の授業、海道祭り、持久走大会）を見直したり、平日での実施に変えたりするなど、検討していきます。また、PTA運営委員会等で提案し、意見をいただく予定です。

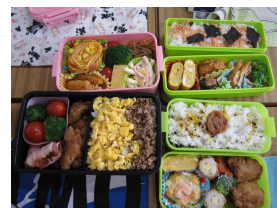


行事から

実施した行事のいくつかと、本校の目指す児童像をお知らせします。

お弁当の日（14日）～よく考える、進んではたらく子ども～

食育の一環として、11月には「おにぎりの日」を実施し、「お弁当の日」を迎えました。献立を考え一緒に買い物をしたり、早く起きて自分で作ったり、学年に応じて食への関心を高めるとともに、食への感謝の気持ちを育てることができました。ご協力、ありがとうございました。



やきいも・長なわとび大会（15日）～明るく元気な子ども～

学級対抗で、3分間連続ハの字跳びの回数を、縦割り班全員で、5分間連続跳びの回数を競いました。学級対抗では、6年生が、皆の手本となる結束力と元気が出る言葉かけで、最高記録（320回）で優勝しました。

大会の後、児童が苗を植え、本校の土で育ったさつまいもを、本校の落ち葉で焼き上げ、おいしくいただきました。焼き場づくり、児童の支援を行っていただいた地域の方に感謝いたします。



学習に関する調査結果等を公表します

4月21日（火）に、6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」、4、5年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施しました。調査内容は、国語・算数・理科及び質問紙です。調査結果を受け、重点を置いて指導することを検討し、ホームページにおいて公表しました。

今後、校内で、学力の定着に向けた方策を調査研究し、学校全体で共通に実践する内容や家庭と連携して行う取組を明らかにし、2月の学級懇談会で学級担任から説明する予定です。

ここでは、国語の平均正答率（6年生は国語A〈知識〉）と質問紙の主な状況を紹介します。

観点／区分	4年			5年			6年		
	本校	市	県	本校	市	県	本校	市	国
話す・聞く能力	90.8	86.5	86.3	50.0	53.5	50.9	59.4	49.3	53.0
書く能力	37.5	44.3	43.0	26.6	29.0	28.0	84.4	88.2	86.0
読む能力	53.1	56.7	54.9	50.5	56.3	54.9	53.9	55.2	55.2
言語についての知識・理解・技能	66.9	71.6	71.5	73.1	79.8	79.1	81.3	78.5	77.2

	傾 向 (○良好な状況が見られる ●課題が見られる それぞれを一つずつ抜粋)
4年	○「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「グループ等の話合いに自分から進んで参加する」の肯定的回答の割合は88.2%、91.2%で、県平均を19.0ポイント、17.7ポイント上回る。 ●「授業を集中して受けている」「友だちと話合おうとき友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」の肯定的回答の割合は、どちらも75.9%で、県平均を12.6ポイント、15.0ポイント下回る。
5年	○「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「家でテストで間違えた問題について勉強している」の肯定的回答の割合は79.3%、72.4%で、県平均を12.9ポイント、10.0ポイント上回る。 ●算数と理科の「教科の問題をとく時間は十分でしたか」の肯定的回答の割合は、70.6%、67.6%で、県平均を13.0ポイント、16.2ポイント下回る。
6年	○「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」「自分にはよいところがある」「友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意である」の肯定的回答の割合は100%で、国平均を10ポイント以上、上回る。 ●「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の肯定的回答の割合は、62.5%で、県平均を11.4ポイント下回る。

※肯定的回答率：質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合